

登録コード	E7137300	開講年度	2026				
授業科目	多文化教育特別演習					担当教員	徳井 厚子
英文授業名	Seminar for Multicultural Education1					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・5時限	対象学生	2-4年
講義室	教育 E 1 0 1		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				異文化間教育の専門家に求められる公共的使命感や倫理観を身につける		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				異文化間教育の教育活動を支え、実現する上で必要な専門的知識と技能を身につける		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	外国籍児童生徒と多文化教育について、さまざまな観点から資料を批判的に読み、検討する。						
(5)授業計画	第 1 回： 多文化教育についての概要 第 2 回： 外国籍児童生徒と多文化教育研究（講読資料の概要） 第 3 回： 外国籍児童生徒と多文化教育研究（海外における研究） 第 4 回： 外国籍児童生徒と多文化教育研究（国内における政策研究） 第 5 回： 外国籍児童生徒と多文化教育研究（地域における言語サービスの研究） 第 6 回： 外国籍児童生徒と多文化教育研究（子どものアイデンティティと発達） 第 7 回： 外国籍児童生徒と多文化教育研究（幼少期とバイリンガリズム） 第 8 回： 外国籍児童生徒と多文化教育研究（学齢期とバイリンガリズム） 第 9 回： 外国籍児童生徒と多文化教育研究（学齢期前の言語発達） 第10回： 外国籍児童生徒と多文化教育研究（学齢期の言語発達） 第11回： 外国籍児童生徒と多文化教育研究（日本語教科書） 第12回： 外国籍児童生徒と多文化教育研究（日本語の教材） 第13回： 外国籍児童生徒と多文化教育研究（リライト教材） 第14回： 外国籍児童生徒と多文化教育研究（JSLカリキュラム） 第15回： まとめ 授業アンケート実施						
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・授業のねらい の到達度を測る小レポート 50% ・授業のねらい の到達度を測る最終レポート 50% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	1) 授業内容を理解しているか 2) 問題点や課題を見いだしているか 3) 結論が明確か 4) 考察を深めているか 5) オリジナリティがあるか。すべてを満たしていれば「卓越している」。上記のうち 4 項目を満たしていれば「かなり上にある」。3 項目を満たしていれば「やや上にある」。2 項目を満たしていれば「水準にある。」						
(8)事前事後学習の内容	毎回、授業後に振り返りシートを渡します。授業で学んだことについてまとめ、次の授業の最初に提出すること。振り返りシートは以下の点に留意してまとめること。1) 授業の内容をふまえること 2) 授業から自身がどのように考えたか明確に書くこと 3) 多文化社会への課題と関連させること						
(9)履修上の注意	各自それぞれ研究テーマを持ち積極的に参加すること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	メールアドレス tokuias@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	なし						
【参考文献】	適宜指示する						